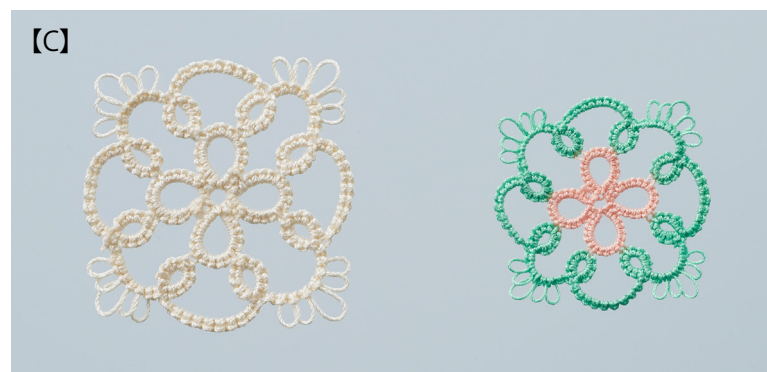
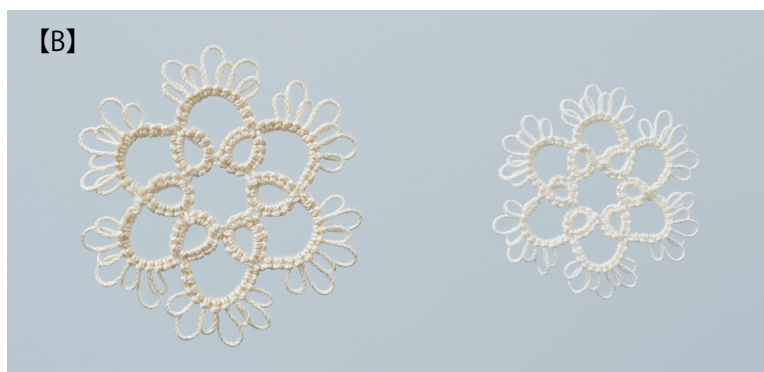


ピコットコームを使って作る タティングレースモチーフ3種



<使用道具>

57-820

タティングシャトル<フローラ>

<https://clover.co.jp/products/57820>



57-708

ピコットコーム<ラージ>

<https://clover.co.jp/products/57708>

※#10~#50のレース糸を使う場合



57-709

ピコットコーム<スモール>

<https://clover.co.jp/products/57709>

※#60~#100のレース糸を使う場合



36-666

カットワークはさみ115

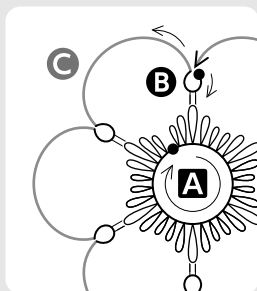
<材料>

レース糸(お好みの太さ・色のものをご使用ください)

※#10~#50はピコットコーム<ラージ>、

#60~#100はピコットコーム<スモール>をお使いください。

▶ 編み図について



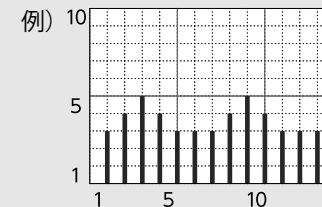
- ⌈ : リング (太く色の濃い線)
- ⌋ : ブリッジ (色の薄い線)
- : ピコット (細い線)
- = : ピコットにつなぐ
- : スタート
- ← : 編み進む方向

A・B : ピコットコームを使って編みます。
(四角英字)

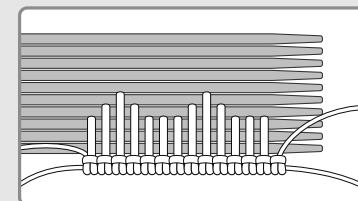
A・B : ピコットコームを使わずに作ります。
(丸英字)

▶ ピコットコームの編み図について

横軸が「目数」、縦軸が「ピコットの高さ」を表しています。



例)の編み図をピコットコームで作ると、図のようになります。



【A】

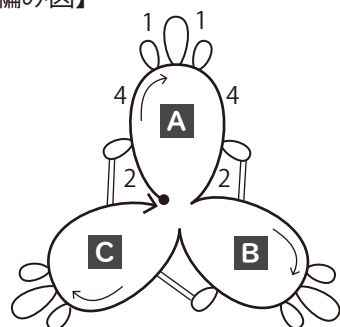


できあがり参考サイズ（縦 × 横）

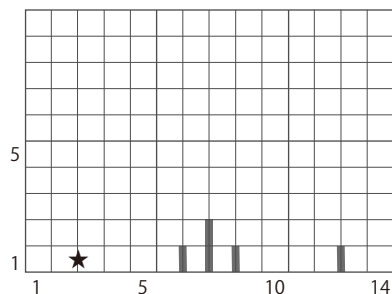
〈ラージ〉	〈スモール〉
#30 で	#80 で
約 1.7×1.7cm	約 1.3×1.3cm

※糸の太さは、メーカーにより異なります。
同じ表記でもモチーフの仕上がりサイズは
変わってくるのでおおよその目安として
参考にしてください。

【編み図】



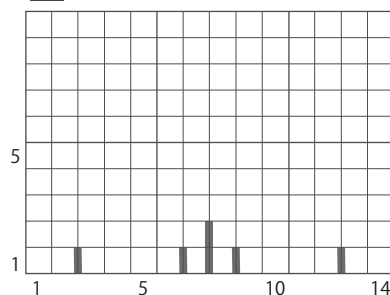
【B】のリング



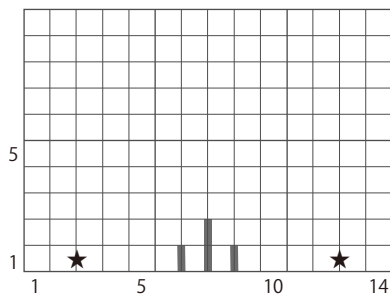
【ピコットコームの編み図】

★: ピコットにつなぐ

【A】のリング



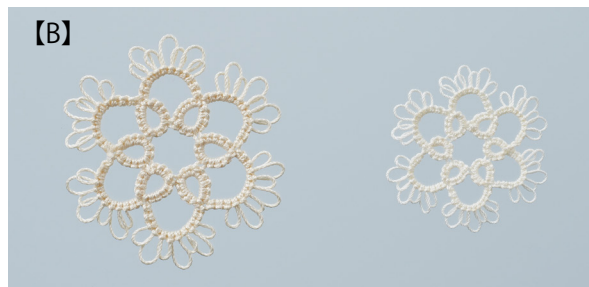
【C】のリング



◆作り方〈シャトル1個で作る〉

Aのリングからスタートし、続けてB、Cのリングを隣のリングのピコットとつなぎながら
編んでください。

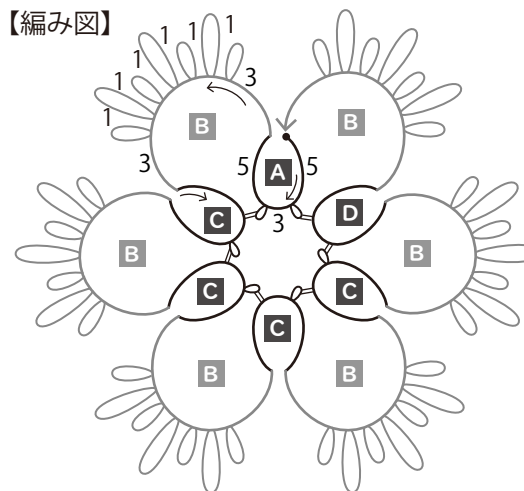
【B】



できあがり参考サイズ（縦 × 横）

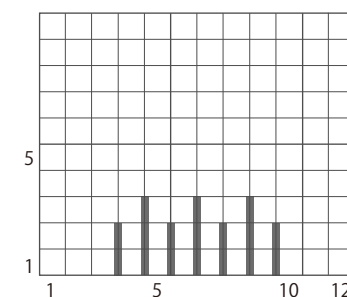
〈ラージ〉	〈スモール〉
#30 で	#80 で
約 3.4×3.6cm	約 2.5×2.6cm

【編み図】



【ピコットコームの編み図】

【B】ブリッジ部分



◆作り方〈シャトル1個と糸玉が繋がっている状態で作る〉

Aのリングからスタートし、リング、ブリッジを交互に編んでいきます。

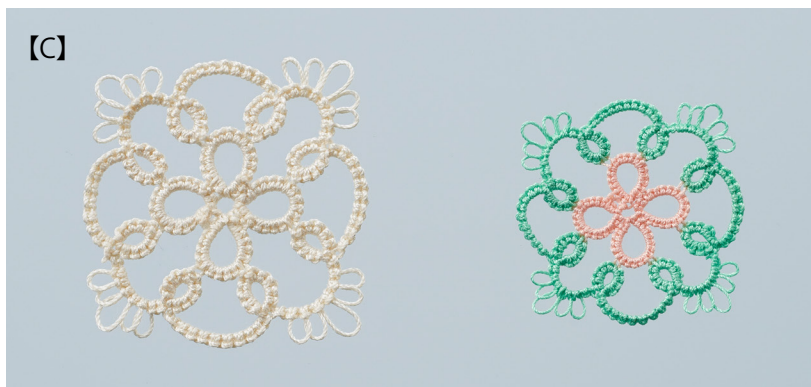
C・Dのリングは隣のリングのピコットとつなぎながら編んでください。

A・C・Dのリングのピコットはすべて、ピコットコームの高さ「1」で作ります。

クロバー株式会社

ピコットコームを使って作る タティングレースモチーフ3種 3-2

【C】



できあがり参考サイズ（縦 × 横）

〈ラージ〉

#30で

約3.3×3.3cm

〈スモール〉

#80で

約2.6×2.6cm

◆ 作り方 内側（**A B C**）：〈シャトル1個で作る〉

外側（**D E F**）：〈シャトル1個と糸玉が繋がっている状態で作る〉

● 内側（**A B C**）

Aのリングからスタートし、続けてB、Cのリングを隣のリングのピコットとつなぎながら編んでください。

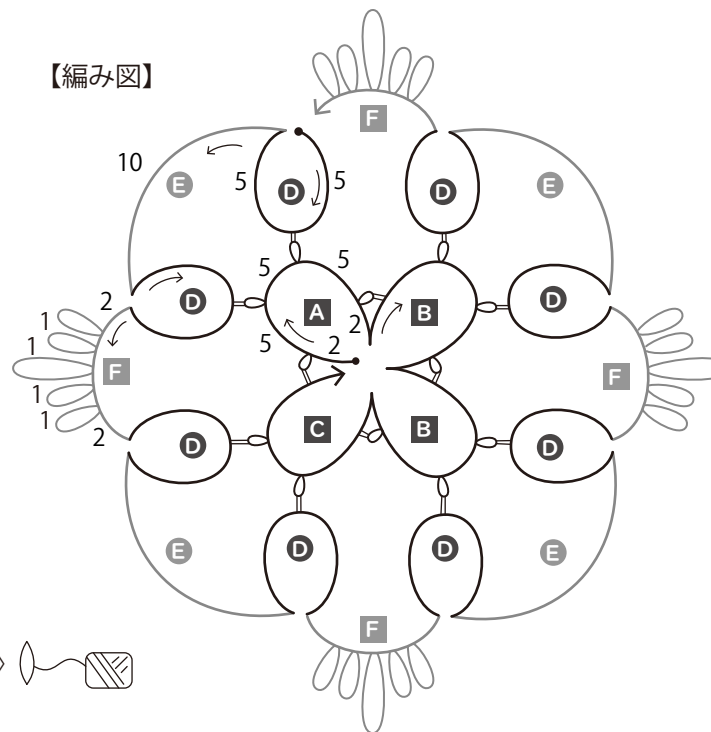
A・B・Cのリングのピコットはすべて、ピコットコームの高さ「1」で作ります。

● 外側（**D E F**）

Dのリングからスタートし、リング、ブリッジを交互に編んでいきます。

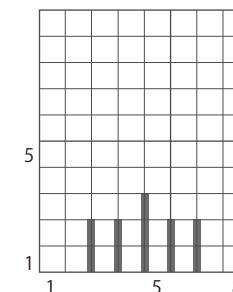
Dのリングは、内側のA・B・Cのリングのピコットとつなぎながら編んでください。

【編み図】



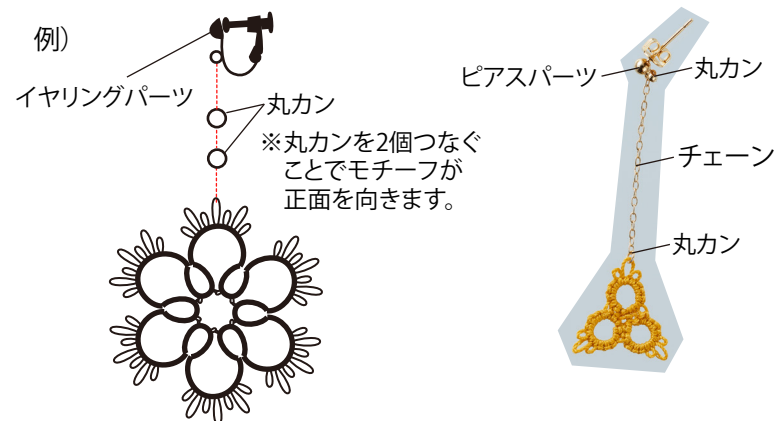
【ピコットコームの編み図】

F ブリッジ部分



＜ピアスやイヤリングに仕立てる方法＞

できたモチーフのピコットに丸カンを取り付け、ピアス・イヤリングのパーツにつなぎます。間にチェーンを入れてもかわいいです。



クロバー株式会社

ピコットコームを使って作る タティングレースモチーフ3種 3-3